



いやあ驚きました。「相手が20発撃てば、追うミサイルの数は60発を超す…費用負担も厳しくなりつつある…北緯艦のミサイル原価は推定約750万円だが、イージス艦に積む迎撃ミサイル『SMSブロック2A』は1発約40億円もする…米専門家は、ミサイル防衛は…血税を吸い続ける『吸血鬼』だと表現した」…との記事が昨年11月10日の毎日新聞に掲載されたのです。(会川晴之専門編集委員)

憲法9条の理念(戦争の放棄)はどこへやら、昨年12月は防衛費増額の財源をどうするのかで自民・公明の与党は大騒ぎをしていました。

そんな中、日本のジャンヌダルク=嵐を呼ぶ少女と評されてきた33才の保育士で市民運動家の講演会が12月初めに大分市でありました。「菱山南帆子」と検索すればネットですぐ出てくる聡明な女性です。

「カルト教義の改憲反対！民主主義を取り戻そう」との堅苦しい演題とは全く違った明朗快活でユーモアに満ちた話に会場からは何度も笑い声

が…。2時間があったという間でした。ほんの一部ですがご紹介します。

怒らない若者たち、老後のために生きる若者たち、足元を照らすことで必死な若者たち、冷笑主義が格好いいと思わされている若者たち、「み

足元だけ見る提灯型から…街灯型社会へ

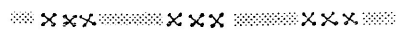
んなと違う」が怖い若者たち…その底流にあるの

は『提灯型社会』。足元だけを見ながら歩いている。

これに対するのが「揺り籠から墓場まで」に表される『街灯型社会』。

老後の備えも大切だが老後を心配しなくて良い社会を作る事の方が大事ではないか？悲壮感で人を動かすのをやめて、共感と傾聴の姿勢で明るい

市民運動を進めよう。楽しくて分かりやすいことは悪い事じゃない。掛け布団より下にあって見えないが、夏も冬も必要な敷布団になろう!!



オミクロン株コロナやインフルエンザに負けず、今年もボーッとしちゃいられません。さあ今日は仕事始め。職員一同、今年も力を合わせて頑張らせて頂きます。

(2023.1.5)



西馬行政総合コンサルタント事務所
 (渡邊健太社労士事務所)
 (西馬行政書士事務所)
 TEL 0977-23-5463 FAX 0977-24-1806
 <FAXは平日と土曜の6:30~20:00受信可能>

ご鄭重な賀状を当事務所へお出し頂いたお客様には、当『豆ニュース』をもちまして、ご返礼の書状に替えさせていただきます。誠にありがとうございました。本年も宜しく願いいたします。